

(様式第2号)

目標達成計画票(事業所記入)

事業所名 グループホーム椎の木の家

作成日: 平成 27年10月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	23	行事のあり方、一日の過ごし方など職員中心となりがちである。	利用者の思いを、職員全員が知る事が出来るようになることを目指す。	利用者からの声を聞くために、椎の木サロンをもっと活用し、利用者の思いや希望を聞き取り1冊のノートに記録していく。行事や毎日の取り組みに反映させていく。	3ヶ月
2	25	利用者の身体機能が落ちてきて、段々と動きが少なくなっている。	利用者の残存能力を維持したり、引きだしたりしながら心身ともにリフレッシュをして、楽しく過ごしていけることを目指す。	残存能力を活用するために指先を使つてのレクリエーションや新聞紙のごみ袋作り、食器洗いの手伝いができる援助を行う。 下肢筋力を鍛える運動として、散歩に出る、掃除や洗濯物干しの手伝いなどができる援助を行う。 また正しい姿勢で坐位を保つなど心肺機能の維持・強化ができるように援助する。 上記活動については、参加カードで評価を付けてみることで、利用者のやる気を引き出し、継続していけるように取り組んでいく。	6ヶ月